

子どもの権利から 教育の在り方を考える ～今、私たち大人ができること～

令和6年

12月7日(土)

14:00~16:00

子どもは権利を守られる存在でもあり、権利を行使する主体でもあります。一方で、いじめや不登校等、様々な問題が子どもたちを取りまく中で、子どもたちが安心して過ごし、健全な成長を遂げることを目指す上で、子どもたちを見守るべき教師をはじめとした大人はどのようなことを意識すべきでしょうか。子どもの権利条約からこども基本法まで、子どもに関わる大人として知っておくべきことを押さえ、学校の中でできる実践をグループワークを交えながら講師や参加者の皆さまとともに考えていきます。

四辻 伸吾

大阪教育大学大学院連合教職実践研究科・特任准教授

いじめ問題をはじめとする学校心理学を専門とし、子どもたちが安心して過ごすことができる学校現場の在り方について日々研究している。教師や保護者がいじめに認知することができる「いじめ感度」を高めることの重要性の発信に努めている。



松山 晶氏

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

鹿児島生まれ、兵庫育ち。小学校高学年～中学校にかけてインド在住。大学在籍中より日本の貧困問題に取り組みNPOで活動を始める。複数のNGOなどを経て、2019年より現職。子どもの権利や教育支援に関するアドボカシー（政策提言・啓発活動）を担当。



唐 語思氏

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

中国北京出身。小学校3年生の2学期から神奈川県鎌倉市の公立小学校に転入し、大学まで日本の公立学校で教育を受ける。国際関係・国際開発を専門とし、ビジネスを通じた社会啓発活動、学位留学の事業などを経て、現職にて中学生向けの子どもの権利啓発のためのウェブサイト立ち上げや、SDGs学習、紛争下の教育、気候変動と不平等に関するキャンペーンに携わる。

スケジュール

- 14:00～ 趣旨説明（四辻 伸吾）
- 14:10～ セーブ・ザ・チルドレン 講演
「子どもの権利って？」
- 14:50～ 四辻 伸吾
「子どもの権利をふまえて
教師がすべきこと」
- 15:20～ 子どもの権利について
グループワーク
- 15:50～ まとめ

対象・定員等

教育委員会関係者・学校関係者
学校支援人材・その他(教職志望の大学生)
(対面のみ 対面定員：40名)

会場・アクセス

大阪教育大学 天王寺キャンパス
みらい教育共創館 3階

JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、約650m
JR寺田町駅下車、約400m



申込方法

以下のURLもしくは下のQRコードより、
申込みフォームにアクセスしてください。

<https://forms.gle/CB1rEdh43wLBsES28>

申込
期限

11月20日(水)まで

